

ワンストップで 事業経営をサポート

税理士・社会保険労務士・海事代理士・行政書士 蝦名事務所では、起業支援、労務管理、資金調達、税務申告代理など、事業経営のほぼ全てをワンストップで提供している。

「自らが経営者であり、社労士として労務管理のわかる税理士は多くない。そこがうちの強みです」と代表の蝦名和広さんはいう。蝦名さんは、社会保険労務士と行政書士の資格を手に、24歳の時に独立。その後、より事業者を手厚くサポートしようと、2012年に税理士、15年に海事代理士の資格を取得した。

現在事務所には税理士1名、税理士科目合格者2名、社会保険労務士4名、行政書士5名の有資格者がおり、幹部職員は全員が税理士・社労士・行政書士のトリプルライセンスを目指して勉強中だ。また「海の行政書士」とも呼ばれる海事代理士の資格試験には、今



代表の蝦名和広さん。現在の顧問契約先は、250社ほどだという



事務所入り口。3年前に自社ビルを建てて引っ越した

期5名の社員が挑戦するという。

毎朝1時間使っての 社員教育の積み重ねが奏功

独立後は誠実な対応で順風満帆に業績を伸ばしていった蝦名さんだが、事務所開設から7年を過ぎた頃に落とし穴が待っていた。

「順調だったので、気が緩んでしまったんですね。税理士の勉強があったこともありましたが、少し事務所を不在がちになった」

その結果、社員の士気が徐々に低下したという。業績は落ちなかったものの、蝦名さんは「経営者が社員の誰よりも働いて汗をかかないと、会社に成長はない」と再認識。以後、自ら範を示すとともに社員教育に最も力を入れている。

同事務所では、週2回の早朝勉強会に加え、自社のセミナールームにて毎朝欠かさず1時間、法改正情報の研修や物事の考え方、伝え方、実際の事例などを発表検討する時間を設けている。講師は、蝦名さんをはじめ、社員が持ちま



事務所のホームページ。マンガやスタッフ紹介など、親しみやすい作りとなっている

わりで務める。前半が発表、後半が質疑応答というのが一般的だ。

「発表に対して想定外の質問が出ることも多々ありますが、それがお客さま対応への勉強にもなります」と社会保険労務士部門第二課課長の横野浩平さん。

同事務所の平均年齢は30代後半と比較的若く、経営者のほうが年上というケースも多い。「まずお客さまの話に耳を傾けること」「お客さまにわかるように説明すること」が大切だと説く蝦名さんの教えは、日々の積み重ねにより、確実に浸透している。朝の発表会はまだ10年以上続いているそうだ。

蝦名さんは、23年までに「質、量ともに地域一番の会計事務所になること」を目指している。今後も「経営者の安心と幸せを支える覚悟と誇り」を持ってぶれずに進んでいくという蝦名さん。若い事務所には、この先長くお客さまを支援できるというメリットがある。あと7年。目標の達成が楽しみだ。

メンバー訪問

北海道

労務管理のできる税理士で差別化 社員教育も充実の総合事務所

税理士・社会保険労務士・海事代理士・行政書士 蝦名事務所

■事業所名：税理士・社会保険労務士・海事代理士・行政書士 蝦名事務所 ■〒063-0032 北海道札幌市西区西野二条 5-6-5 Aim.BLD
■TEL：011-669-6064 ■FAX：011-669-6074 ■設立：2003年11月 ■代表者：蝦名和広 ■従業員数：21名 ■事業内容：税務・労務・会社設立・各種許認可・助成金・コンサルティング業務・アウトソーシング受託業務 ■URL：<http://office-ebina.com> ■Mail：info@office-ebina.com